

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭57—67725

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
A 61 F 13/02  
A 61 N 1/42  
B 65 D 65/30  
73/00

識別記号

庁内整理番号

7033—4C

6404—4C

6443—3E

7153—3E

④ 公開 昭和57年(1982)4月23日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑤ 貼着部材用台紙

宝塚市雲雀丘1丁目6番18号

⑥ 実 願 昭55—144278

⑦ 出 願 人 浦上英明

⑧ 出 願 昭55(1980)10月8日

宝塚市雲雀丘1丁目6番18号

⑨ 考 案 者 浦上英明

⑩ 代 理 人 弁理士 鈴木由充 外1名

## ⑪ 実用新案登録請求の範囲

- ① 貼着部材を剥離可能に貼付する台紙において、台紙側辺縁4に対し2条の切断線7、7を適当間隔置いて形成すると共に、両切断線7、7は貼着部材の貼着位置にて互いに接続した貼着部材用台紙。
- ② 各切断線7、7は縁部から中心部に向つて互いに接近するよう形成されている実用新案登録請求の範囲第1項記載の貼着部材用台紙。
- ③ 両切断線7、7は孔により接続されている実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載の

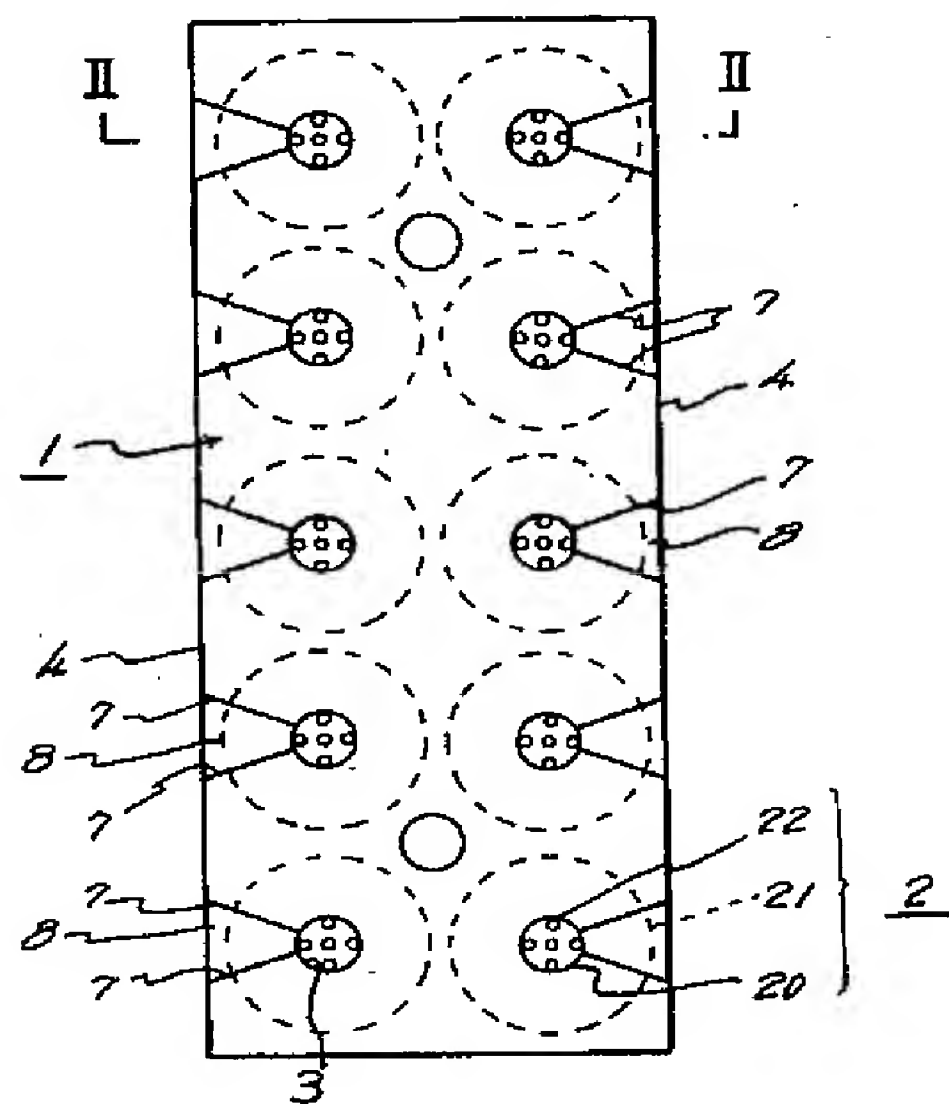
貼着部材用台紙。

## 図面の簡単な説明

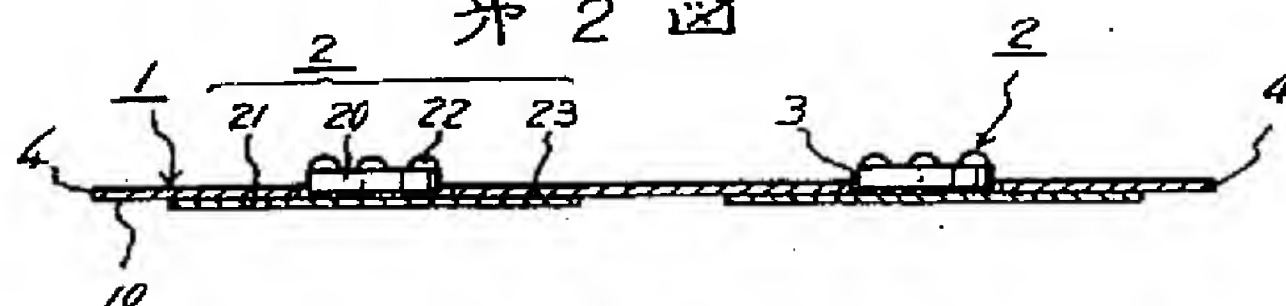
第1図は本考案を磁気治療部材の固定用台紙に実施した実施例の平面図、第2図は第1図II—II線に沿う断面図、第3図は剥離状況を示す斜面図、第4図は皮膚表面への貼付状況を示す斜面図、第5図は他の実施例の平面図、第6図は従来例を示す中間部分を省略した平面図である。

1……台紙、21……貼着部材、4……側辺縁、7……切断線。

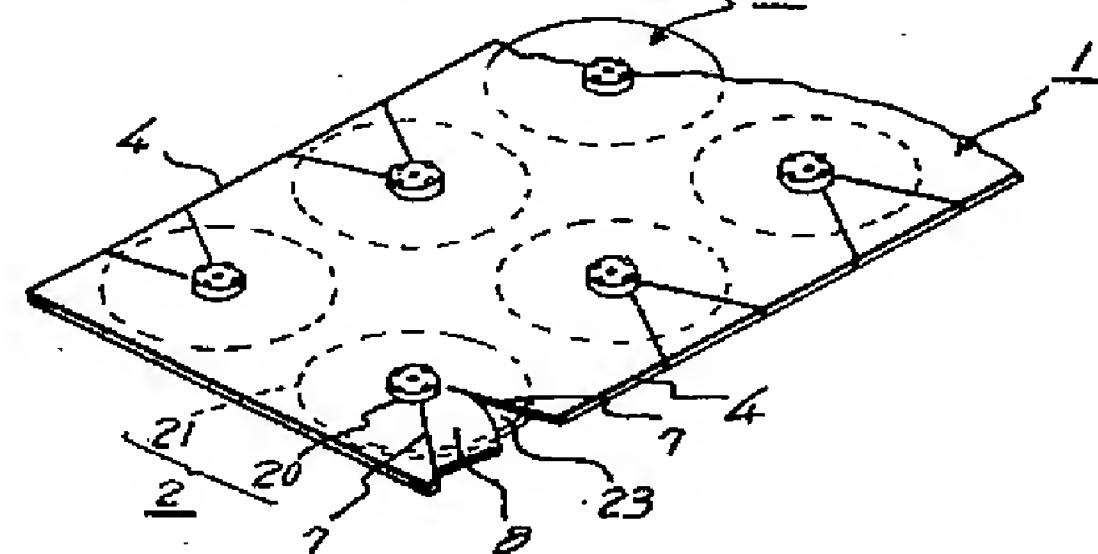
第1図



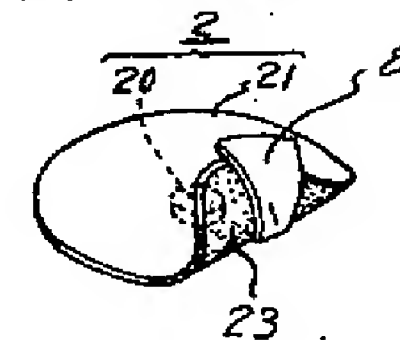
第2図

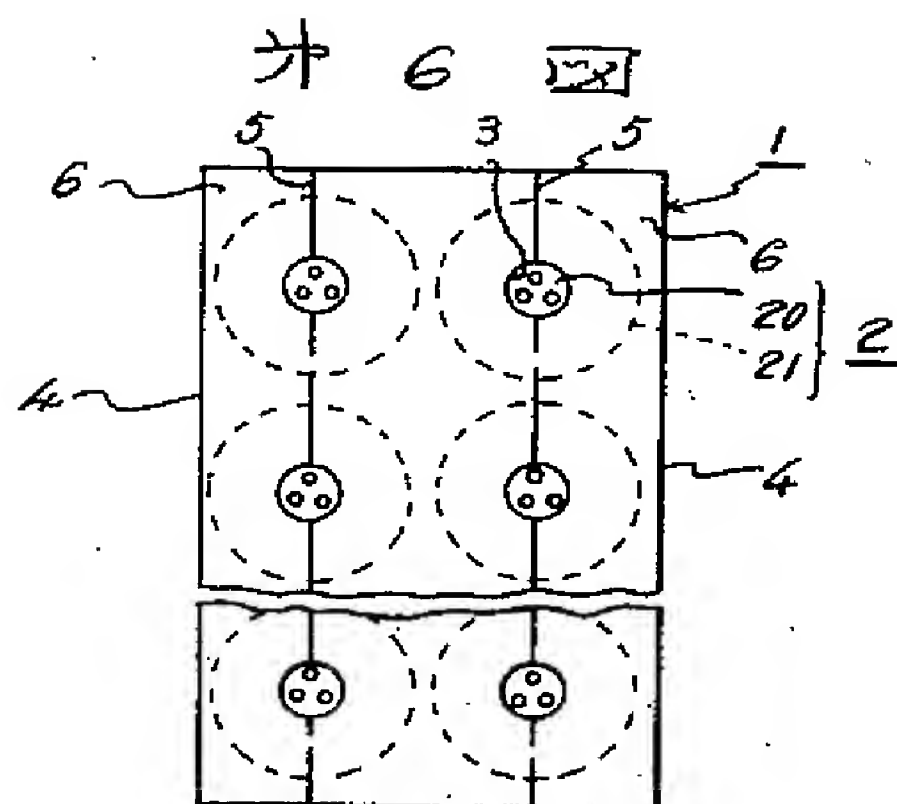
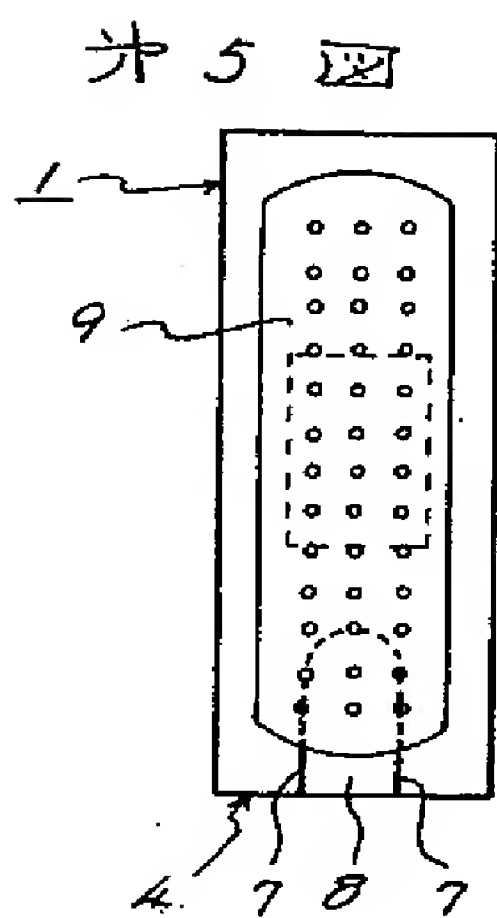


第3図



第4図







## 実用新案登録願

特許庁長官 殿

昭和 55 年 10 月 8 日

### 1. 考案の名称

チヨウチヤクブザイ ヨウ ダイ シ  
貼 着 部 材 用 台 紙

### 2. 考 案 者

実用新案登録出願人と同じ

### 3. 実用新案登録出願人

住 所 〒665 <sup>タカラ ツカシ メ フ</sup> 宝塚市売布ガ丘 <sup>オカ</sup> 12番12号

氏 名 <sup>ウラ</sup> 浦 <sup>ガミ</sup> 上 <sup>ヒデ</sup> 英 <sup>アキ</sup> 明

### 4. 代 理 人 〒542 大阪市南区長堀橋筋1丁目9番1号 共通ビル

和晃特許事務所 電話 (06) 244—9141

(7891) 弁理士 鈴 木 由 充

外1名

### 5. 添附書類の目録

- |   |           |              |
|---|-----------|--------------|
| ① | 明 細 書     | 1 通          |
| ② | 図 面       | 1 通          |
| ③ | 委 任 状     | 1 通 (追って補充。) |
| ④ | 願 書 の 副 本 | 1 通          |
| ⑤ | 出願審査請求書   | 1 通          |

方 式



55 144278

67725

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

貼着部材用台紙

### 2. 実用新案登録請求の範囲

- ① 貼着部材を剝離可能に貼付する台紙において、台紙側辺縁(4)に対し2条の切断線(7)(7)を適当間隔置いて形成すると共に、両切断線(7)(7)は貼着部材の貼着位置にて互いに接続した貼着部材用台紙。
- ② 各切断線(7)(7)は縁部から中心部に向って互いに接近するよう形成されている実用新案登録請求の範囲第1項記載の貼着部材用台紙。
- ③ 両切断線(7)(7)は孔により接続されている実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載の貼着部材用台紙。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は、例えばばんそう膏等の貼着部材へ磁気圧子を付設した磁気治療部材において、貼着部材を剝離可能に貼付して磁気治療部材等を支持固定する貼着部材用台紙に関する。

(1)

6772-5

従来この種台紙(1)には、第6図に示す如く、磁気治療部材(2)の磁気圧子(20)に係入する複数個の円形孔(3)を縦2列に開設すると共に、各孔(3)を通り側辺縁(4)と平行に切断線(5)(5)を形成して、両側に剝離片(6)(6)を形成したものが提案されている。この種台紙において、剝離片(6)を剝がして磁気治療部材(2)を取り出す場合、磁気圧子(20)を付設した貼着部材(21)を直接指先で摘むため、貼着部材(21)の貼着面に手垢、雑菌等が付着し、不衛生のみならず、貼着部材(21)の接着力を著しく低下させる欠点がある。

本考案は、側辺縁に対し2条の切断線を形成し両切断線を貼着部材の貼着位置にて互に接続することによつて、上記従来の問題点を解消した実用上優れた機能を有する貼着部材用台紙を提供することを目的とする。

以下図面に示す実施例に基づき本考案を具体的に説明する。

図面は、本考案を治療若しくは医療用品を保持固定するための台紙に実施した実施例を示す

が、これに限らず、ワッペン、ネームプレート等の各種貼着部材を保持固定するための台紙にも実施できる。

第 1 図および第 2 図は、複数個の磁気治療部材 (2) を本考案にかかる縦長矩形状の台紙 (1) 上へ等配列に保持固定させたものである。この磁気治療部材 (2) は皮膚表面へ貼付して指圧並びに磁気治療効果を得る公知の治療部材であり、表面に局所刺激用突起 (22) を複数突設した磁気圧子 (20) と、磁気圧子 (20) を付着する貼着面 (23) を具えたばんそう膏等の貼着部材 (21) とから構成されている。

台紙 (1) は、裏面にシリコン樹脂を薄膜状に塗布した被着面 (10) を具え、この被着面 (10) へ磁気治療部材 (2) の貼着部材 (21) を剥離可能に貼付して磁気治療部材 (2) を保持固定する。台紙 (1) には磁気治療部材 (2) の磁気圧子 (20) を係入する複数個の円形孔 (3) が縦 2 列に複数開設され、各孔 (3) と側辺縁 (4) (4) との間に 2 条の切断線 (7) (7) を略指先間隔置いて形成し、両切断線 (7) (7) と円形孔 (3) とで囲まれる部分を摘み片 (8) と為す。図示例の切断線

(7) (7) は、孔側において漸次接近するよう反対方向へ斜めに切込まれており、従つて前記摘み片(8)は先細の三角形状に形成される。

第5図は傷テープ(9)を固定する台紙(1)に本考案を実施した例を示し、台紙側辺縁(4)に対し互いに平行な2条の切断線(7) (7)を切込み形成すると共に、各切断線(7) (7)は傷テープ(9)の貼着位置にて連繋接続して、細長形状の摘み片(8)を形成している。

然して磁気治療部材(2)を1個宛取り出すには、第3図に示す如く、摘み片(8)を貼着部材(21)と一体に把持して下方へ引張ると、切断線(5) (5)に沿つて摘み片(8)が分離すると共に磁気治療部材(2)が台紙(1)から一体に剝離する。この状態のまま皮膚表面へ磁気圧子(20)を当て、摘み部分と反対側の貼着部材(21)を皮膚表面へ仮固定する(第4図)。然る後、摘み片(8)を貼着部材(21)から剥がし、貼着部材(21)の全体を皮膚表面へ押付け貼付する。図示例の場合、摘み片(8)の先端部は先細であるため、この部と貼着部材(21)との接着力は



弱く、前記貼着部材(21)の仮固定段階で先端部が貼着部材(21)から自動的に剥がれて摘み片(8)の剥離が容易となる。

尚第5図の実施例においても、上記と同様の剥離および貼付動作を行なうものである。

本考案は上記の如く、切断線(7)(7)で囲まれた部分を貼着部材(21)と一体把持して剥離するよう構成したから、貼着部材(21)の貼着面に直接指先が触れず、従つて手垢、雑菌等が付着する虞れがなく、衛生的であり且つ貼着部材(21)の接着力は全く低下しない。

また切断線(7)(7)に沿う台紙(1)の分離と、貼着部材(21)の剥離とを同時に行なうから、貼着部材(21)の取外しを迅速且つワンタッチで行なえる等、実用上幾多の優れた効界を奏する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案を磁気治療部材の固定用台紙に実施した実施例の平面図、第2図は第1図II-II線に沿う断面図、第3図は剥離状況を示す斜面図、第4図は皮膚表面への貼付状況を示す



斜面図、第5図は他の実施例の平面図、第6図は従来例を示す中間部分を省略した平面図である。

(1) …… 台紙

(2) …… 貼着部材

(4) …… 側辺縁

(7) …… 切断線

実用新案登録出願人      浦    上    英    明

代理人    弁理士      鈴    木    由    充

代理人    弁理士      浅    谷    健    二

図1

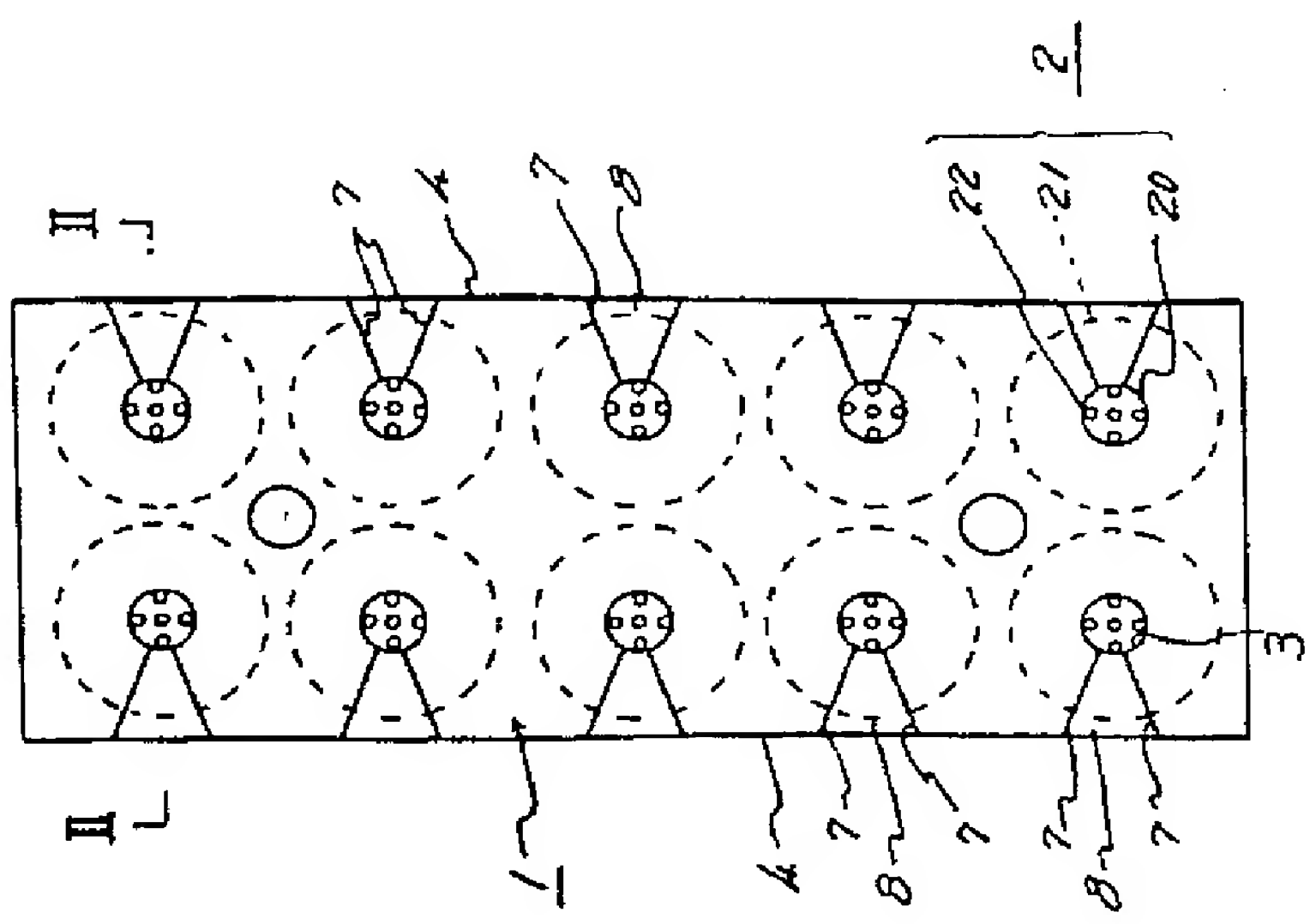


図2

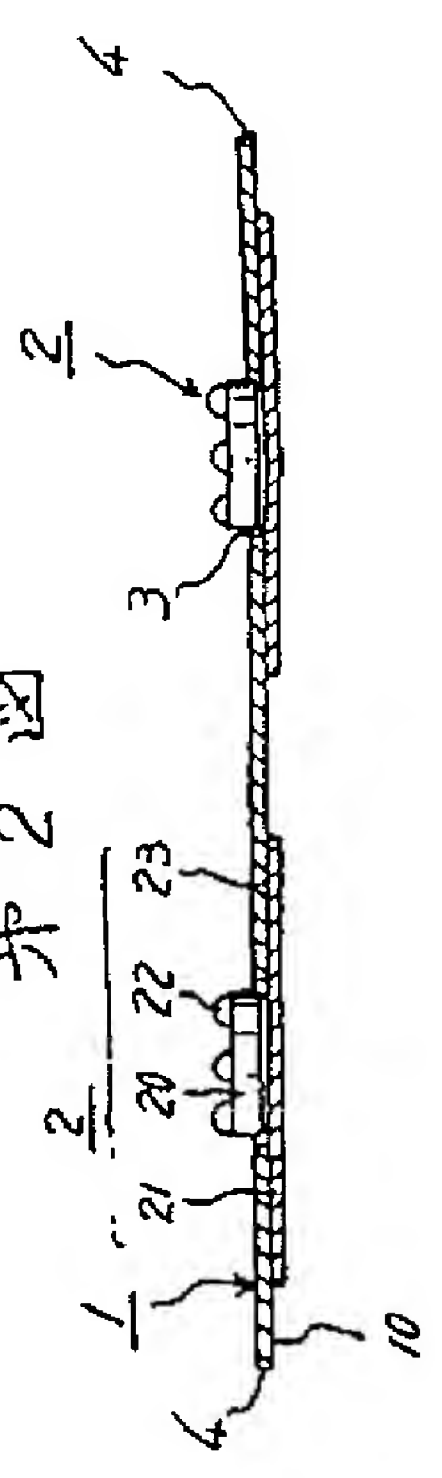


図4

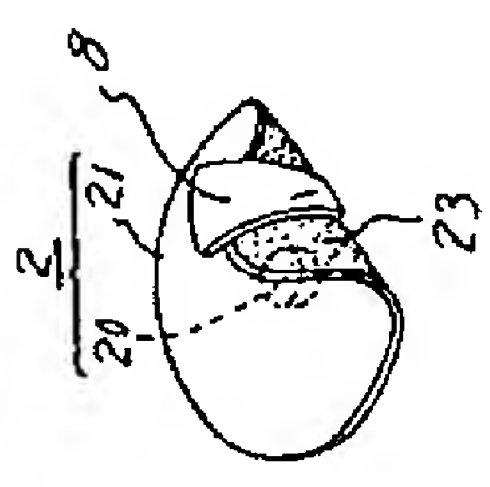


図5

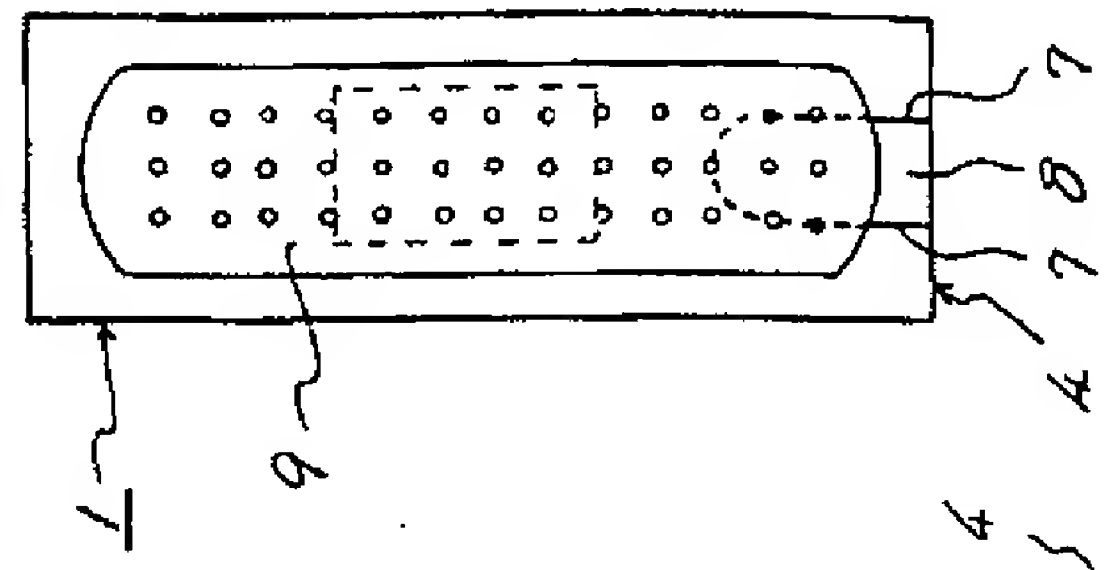


図6

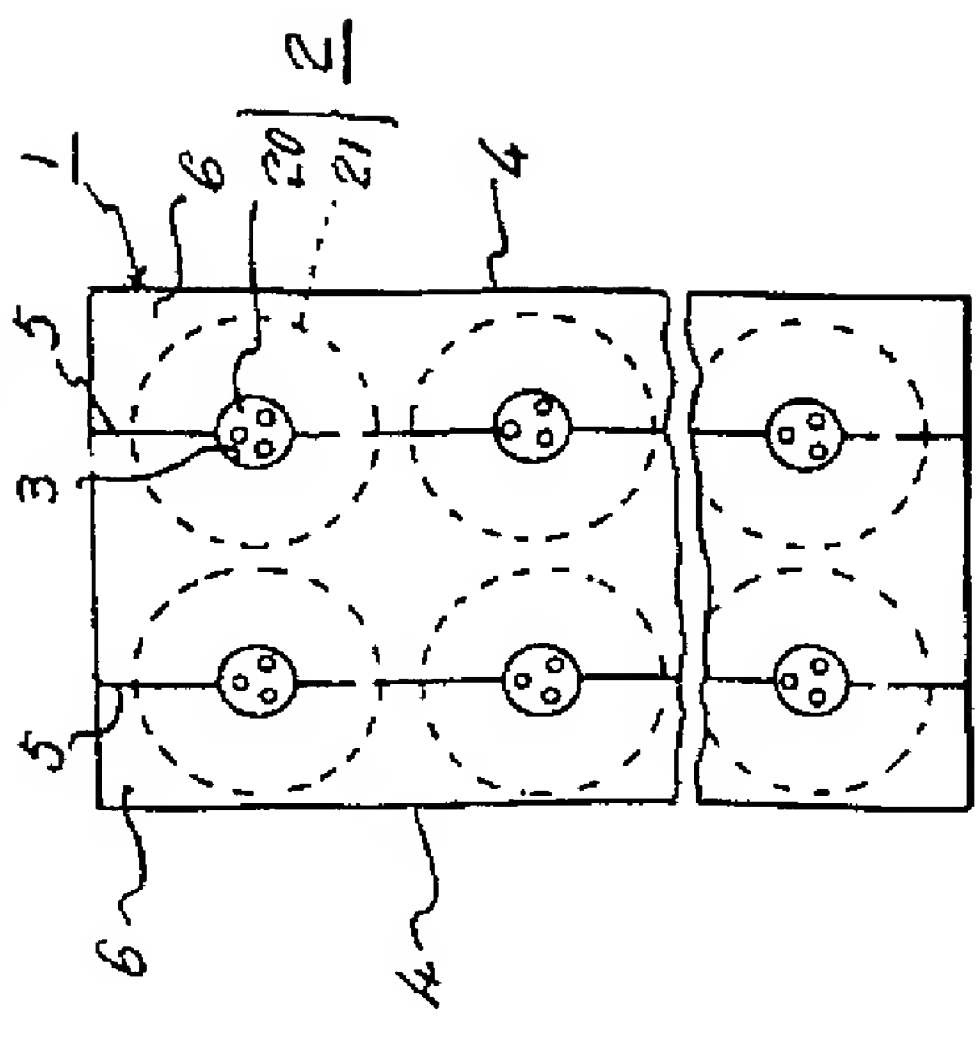
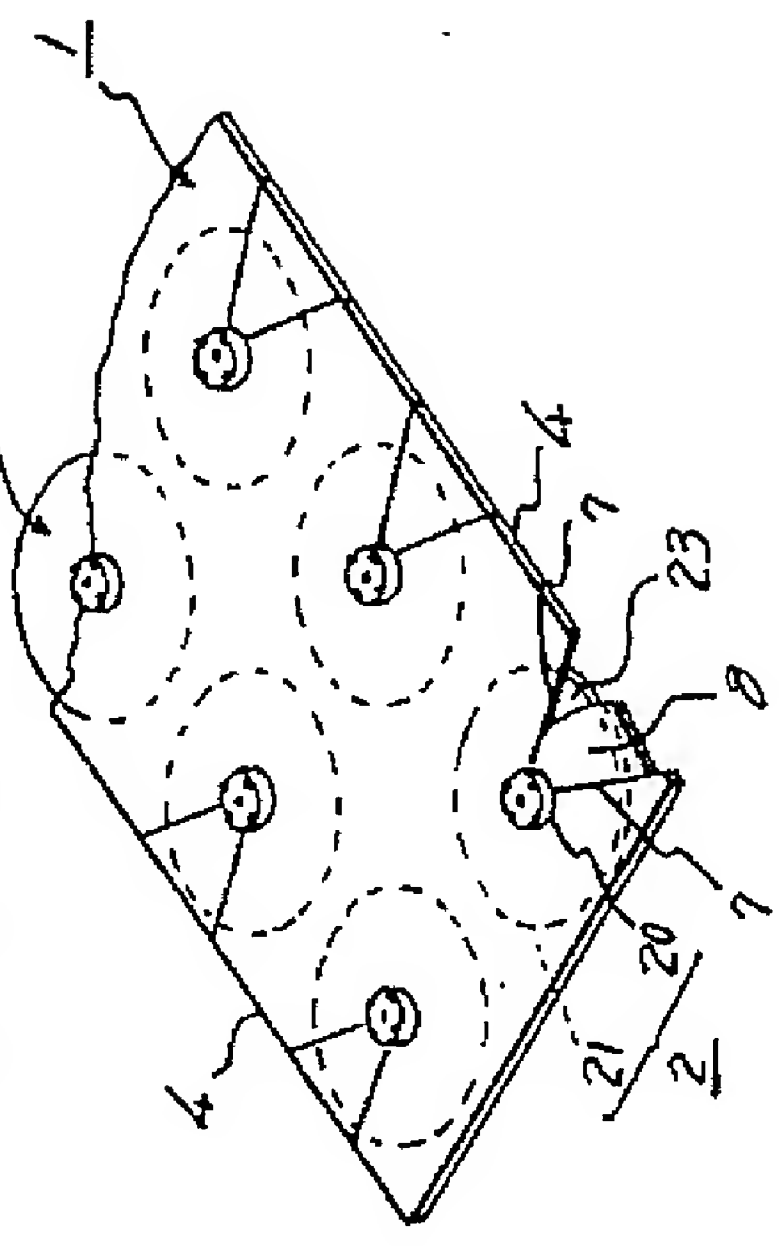


図3



出願人の氏名	浦上英明	弁理士	鈴木 健二
代理人	弁理士 鈴木 健二	弁理士 鈴木 健二	弁理士 鈴木 健二

8 字 Y

6. 前記以外の~~発明者~~ 考案者、出願人、代理人

(1) ~~発明者~~ 考案者

な し

(2) 出 願 人

な し

(3) 代 理 人 〒542 大阪市南区長堀橋筋1丁目9番1号 共通ビル  
和光特許事務所 電話 (06) 244-9141  
(8409) 弁理士 浅 谷 健 二

67725

住 所 変 更 届

昭和56年4月16日

特 許 庁 長 官 殿

適

1. 事 件 の 表 示            実願昭55-144278号

2. 考 案 の 名 称            貼 着 部 材 用 台 紙

3. 住 所 を 変 更 し た 者

事件との関係      実用新案登録出願人

旧住所 〒665 宝塚市売布ガ丘12番12号

新住所 〒665 兵庫県宝塚市雲雀丘1丁目6番18号

氏 名            浦    上    英    明

4. 代    理    人

大阪市南区長堀橋筋1丁目9番1号 共通ビル

和 晃 特 許 事 務 所

(7891)弁理士    鈴    木    由    充

同    所

(8409)弁理士    浅    谷    健    二

67725